

ハルをさがして

小柴大河 佐藤奈月 小泉凱 橋本一輝 / 洞口依子 小沢仁志

プロデューサー 内藤諭

脚本・監督 尾関玄

主題歌「呼んでくれ」甲本ヒロト



3.11 後の
僕らのスタンド・バイ・ミー

東京から福島へ。
失ったものを取り戻す、ひと夏の冒険。

岩波映像株式会社

DVD
VIDEO

残る選択、避難する選択、
それそれの人たちの「葛藤」
が動物愛を通して描かれてい
たのがとても印象的でした。
辛い過去、傷ついた過去を受
け入れられる笑顔のシーン、
それがこの映画の一番の魅力
だと感じました。

福島県在住 26歳男性

震災で引越してしまった友達のことを
いまだに「〇〇くん、どこにいったの
のかなあ」と心配する息子がいます。なん
だか、涙が止まりませんでした。

福島県在住 38歳女性

知ることができない他県の中学生の、福
島に対する気持ちが分かりました。モニタ
リングポストを知らない事に驚きました。
それだけ放射能が私達の生活で身近なもの
になったのだと感じました。

福島県小野町立小野中学校2年Yさん

失ってしまったものがあったも、また新しい
ものに出会うことで私たちは成長するのかなと
思いました。「福島」の現状をしっかりと受け止
めて、みんなが故郷で笑って暮らせるようにな
ることを願っています。

福島県小野町立小野中学校3年Sさん

誰にでもきっとある 「あの夏の日」

震災後の福島を舞台に、ひと夏の経験を通して少年少女たちの「成長」という普遍的なテーマを描く『ハルをさがして』。2015年「第2回こども国際映画祭in沖縄」を皮切りに、数々の映画祭で上映をしました。また、これまで東京、名古屋、大阪の映画館で公開をし、劇場内を笑いと涙が包み込み幅広い世代から支持を集めました。

主なロケ地は福島県いわき市と福島県田村郡小野町。震災で被災した犬猫の保護活動をしているペットシェルター「LYSTA」や小野町商工会など現地の多くの方々にご協力をしていただき『ハルをさがして』は完成をさせることができました。

また2016年の3月17日には東日本大震災を風化させない取り組みの道徳の授業の一環として小野町立小野中学校の生徒さんに向けて上映会を行うなど、撮影終了後も現地の方々との交流が続いています。



[ストーリー]

2012年夏。ノボルは都内で暮らす中学3年生。同じクラスのマサル、ヒロキと冴えない学校生活を送っている。そんなノボルは同じクラスのチエコに秘かに思いをよせている。夏休みになると彼女にも会えなくなってしまうし、受験シーズン突入の季節を前になんだか気が重い。ある日、ノボル達はチエコから依頼を受ける。チエコの家族は東日本大震災後、福島から東京に自主避難してきていた。その際に残してきた愛犬「ハル」が行方不明になっているらしく、一緒に探しに行きたいというのだ。ノボル達は淡い期待を胸にチエコとの同行を決める。

ハルをさがす4人のひと夏の冒険が始まった――。



DVD/NTSC/16:9/片面一層/93分/日本語

- 個人貸出・館内上映可能 価格:16,000円(+消費税)
- 個人貸出・館内上映・団体貸出・館外上映可能 価格:38,000円(+消費税)

北辰映像株式会社

〒350-0461 埼玉県入間郡毛呂山町中央 3-32-3
TEL:049-298-5792 FAX:049-298-5793
E-mail: co@hokushineizo.com